

# 31日 火曜

## Iコリント

13:8 愛は決して絶えることがありません。預言の賜物ならばすたれます。異言ならばやみます。知識ならばすたれます。

13:9 というのは、私たちの知っているところは一部分であり、預言することも一部分だからです。

13:10 完全なものが現われたら、不完全なものはすたれます。

13:11 私が子どもであったときには、子どもとして話し、子どもとして考え、子どもとして論じましたが、おとなになったときには、子どものことをやめました。

13:12 今、私たちは鏡にぼんやり映るものを見ていますが、その時には顔と顔とを合わせて見ることになります。今、私は一部分しか知りませんが、その時には、私が完全に知られているのと同じように、私も完全に知ることになります。

13:13 こういうわけで、いつまでも残るものは信仰と希望と愛です。その中で一番すぐれているのは愛です。

そして「愛は…絶えることが」ないのですから、もしも何かの理由で誰かを愛せなくなったらとしたら、それは愛ではなかったというべきでしょう。ここでの愛は原語では「アガペー」であって、それは無条件の愛です。私たちはこの愛を神様からもらって、（すべてが無価値にならないように）他の人を愛する必要があるのです。また愛せるようにしていただけるのです。

「その時には顔と顔を合わせて見る」と、イエス様にお会いする再臨のことが書かれています。そのときには地上の知識も預言も何もかも、イエス様によって教えられるでしょうから、必要なくなり、「すたれる」のです。ですからどんなに特別な賜物



Bible Reference  
聖書の記述

も天に持つて行くことはできませんし、その必要もありません。しかし、愛の思いとその行動は永遠に続くのです。もちろん信仰も、そして主にお会いする希望も続きます。

永遠に残るもの追い求めましょう。主から愛をいただき、愛せなくなってしまった人をも愛しましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

